



あまみ



© Amami city

第38号

平成27年9月発行

市議会だより



第2回定例会

平成27年6月19日

～7月8日

発行／奄美市議会

編集／奄美市議会だより編集委員会

〒894-8555

鹿児島県奄美市名瀬幸町25番8号

TEL (0997) 52-1111

FAX (0997) 52-2815

Eメール：gikai@city.amami.lg.jp

第2回定例会一般質問・・・・・・・・・・2P～6P

常任委員会の所管事務調査・・・・・・・・・・7P

3常任委員会所管事務調査・・・・・・・・・・8P

常任委員会の審査概要・・・・・・・・・・9P

定例会の主な議案、請願・陳情・・・・・・・・10P

議員在職表彰式・・・・・・・・・・11P

議会の動き・・・・・・・・・・12P

会 例 定 質 問 第 2 回 一 般



六月二十二日、二十三日、二十四日の三日間で十三名の議員が市政全般について市当局に問いたしました。要約を紹介します。
(質問順に掲載)

マイナンバー制の導入について

与 勝広 (公明党)



問 マイナンバー制の導入のスケジュールと市民への周知について

答 平成二十七年十月から全ての国民に個人番号が通知され、併せて十二月までに通知カードと交付申請が送付され平成二十八年二月からは個人番号カードの交付者に対して、順次開始されます。市民への広報・周知については、広報紙や市民が多

く訪れる一階の窓口にはポスター掲示や事業者向けの取り扱いを解説しているパンフレットを置いてあります。

問 奄美市総合戦略策定までのスケジュールと産金学官と代表者との意見交換をどのようなイメージで考えているのか。

答 九月頃に総合戦略の案を作成する予定であり、庁内及び民間のワークショップでの議論を反映させながら作成して参りたいと存じます。十二月までに総合戦略の策定を目指して参りたい。産金学官との意見交換会につきましては「奄美市総合戦略会議」を立ち上げ、内容等についての議論を頂きながら策定して参ります。

鹿児島県立大島北高等学校の生徒の確保について

奥 輝人 (市民クラブ)



問 鹿児島県立大島北高等学校の生徒確保について

答 島内の中学生の全体数が減少し、厳しい状況であるが、高校説明会等において、中学生から北高に対する要望や質問等があり、各種取り組みへの参考にさせている。学校や振興協議会、同窓会組織が行っている事業等を推進し、一人でも多くの生徒が入学してもらえる様に、関係団体一体となって取り組んでいく。

問 サトウキビ増産基金事業の継続について



大島北高等学校正門

答 減収の対策として、平成二十五年度から二年間、肥料・堆肥・薬剤・干ばつ等の事業を実施する。平成二十七年度は、過去七年の内、五年間の平均で十パーセント以上の被害や生産量の減少が見込まれる場合において、「セーフティネット基金」として、事業を実施する。

問 農業委員会に関する改革について

答 現在、国会で農業委員会の法律改正に向けて審議中であり、法案が成立された場合、情報を提供していく。

大浜海浜公園の養浜について

おおよそ
大迫 勝史（公明党）



問 大浜海浜公園の養浜について、今年度実施する公園整備事業の中で検討している計画を示せ。

答 小宿海岸に仮置きしている砂、約五千立米を遊歩道整備の土嚢として使用後に大浜の海浜へ敷ならす計画である。（平成二十八年一月頃）

問 奄美ナンバー普及の現況と関係機関への協力依頼の状況、並びに奄美ナンバーへ切り替えた市民への特典等は考えられないか伺う。

答 軽自動車の普及率は九パーセント、検査登録事務所へ土、日対応の

要請はしたが現段階では

システムの都合上困難であるとのこと。奄美ナン

バーへ切り替えた市民への特典については市民が自主的に切り替えを行う

ことがベストであるが期限設定期間内の登録ナン

バーを対象とした抽選を行い、市の保有するJACの株主優待券のプレゼント等が考えられる。

その他の質問事項

○小宿大川、朝仁新川の浚渫について

○空き家対策特別措置法について

○金久中円形校舎跡地の利用について



ビーチロック除去の後

はしぐら
橋口 和仁（新電美）



あやまる台地計画について

問 あやまる台地計画は。

答 あやまる台地については、観光関係者や市民から、トイレや休憩施設等の要望があり、庁内に検討委員会を設置し、整備方針を策定する。

問 歴史回廊の町作りにおいて、観光に特化したプロジェクトチームでの取り組みは。

答 笠利地区内の観光業者や観光協会関係者と共

に「笠利観光まちづくり実行委員会」を立ち上げており、笠利地区の特徴を活かした観光メニューの造成、拡大を目指している。

問 町づくりにおいて、空家特措法による、空家の解消は、今後の対策は。

答 空き家の有効活用については、定住促進住宅の整備と空き家バンク制度の活用に努める。空き家バンクによって、集落の空き家等の活用が進み、空き家の減少に繋がる。

問 笠利中学校の武道館の現状と今後の方針は。

答 武道館については、老朽化が見られ方針として、学校の改築時に併せて検討していく。

その他の質問事項

○奄美市名瀬・住用地区学校給食センター整備について

生活困窮者自立支援制度とは

わたり
渡 雅之（無所属）



問 職員の県外研修は。

答 限られた財源の中で適正な予算執行を図る必要があるが、今後、研修計画の中で方向性を協議したい。

問 生活困窮者自立支援制度とは。

答 生活被保護者以外の生活困窮者の支援を強化する制度で、二十三件の相談があった。内訳は、生活不安八件、医療費五件、教育費一件、転居費四件、離婚DV五件となっている。また他部署・他

機関との連携を密に取り、孤立しないよう対応して

いる。

問 ひと、もの交流プラザやマンガローブパークの厨房に空調機器がない、調理員の健康管理及び食の安全への配慮は。

答 両施設について、早急に設置する方向で進めたい。

問 奄美博物館の展示について

答 世界自然遺産登録に向けた取り組みの過程で自然の展示ブースについて、季節変化を理解できるようにリニューアルについて検討中である。

奄美大島総合戦略推進本部

設置について

元野 景一（自由民主党）



問 奄美大島総合戦略推進本部設置について、その目的、今後の展開をどのような方向性を持って行くのか。

答 奄美大島の経済圏域、生活圏域が広域化している状況の中、同じ圏域内五市町内で人口を奪い合うのではなく、外から入ってくる人口を増やすことが肝要あり、五市町村で「人口ビジョン」「総合戦略」を策定し、定住施策や観光施策など、少子化対策や子育て支援など

め細かな戦略構築を推進していきたい。

問 大浜海岸の砂流失と奄美近海における海砂採取について

答 海砂採取が県の許可権限で、県の見解をひまえて、市としては現在のところ海砂採取による影響によるものか原因が定かでないと考え特別な働きかけは行っていない。

問 関連が密接にあると考えるので次回再び質問する。海砂採取箇所を伺う。

答 奄美本島周辺では四箇所、住用青久沖、大和村戸円沖、宇検村アコ崎沖、瀬戸内諸島沖となっている。

地方創生に向けた取り組みについて

関 誠之（社会民主党）



問 地方創生に向けた取り組みについて

答 総合計画や成長戦略ビジョンの方向性と合致している。奄美大島をひとつの圏域ととらえて「奄美大島総合戦略」を協働して策定する。市の地方創生は、奄美市総合戦略推進本部で策定する。

問 陸上自衛隊ミサイル部隊などの配置について

答 住民説明会等は、今後基地の詳細が決定してくるので、国との協議し検討させて頂きたい。

世界自然遺産登録には影響もなく整合性が取れるものと考えている。

問 学校給食センター建設について

答 給食センターは一箇所、朝戸に整備し、四千食の規模である。調理後二時間以内の給食が可能な五ルートを検討する。

配送出発を十時五十五分とすると芦花部小中に十二時五十分想定される。

給食技師全員との話し合いの場（意見交換）は、今後調整したい。

その他の質問事項

○住用町市の碎石場での土砂崩落や流出について

地方創生について

安田 壮平（無所属）



問 地方創生の枠組の中で本土から高齢者移住を進めることについての見解は。

答 「日本版CCRC（継続的にケアを受けられる退職者向け地域共同体）」の議論が始まったが、医療・介護給付の増加や介護職の担い手確保などの課題も含めて注視したい。

問 「奄美・琉球」の世界自然遺産登録の前提となる暫定リスト記載予定は。

答 ユネスコに書類は提出されたが、まだ記載されていない。国立公園指

定も現在関係団体と調整中で、早ければ年度内となる。

問 「奄美大島生物多様性地域戦略」の具現化は。

答 大島内五市町村で組織する「奄美大島自然保護協議会」において各自治体の進捗状況等を注視しながら推進していきたい。

問 大島紬の振興策、とりわけ人材育成策については。

答 昨年度から産地再生協議会を組織し在庫活用をしている。今年度は産地再生計画を策定し、より体系的に諸施策を進めていく。現在、紬組合運営の技術専門学院への支援等を行っているが、関係機関と十分議論していきたい。

新総合庁舎について

里 秀和（自由民主党）



問 旧名瀬市の人口、合併前後の人口の動態は。

答 合併前四万四千四百九十九人、合併初年四万八千八百九十七人となり平成二十六年は四万四千二百二十五人になっており四千七百七十二人減となっている。

問 新総合庁舎について

答 平成二十八年度前半に公民館を解体し、跡地に来庁舎用の仮駐車場に

整備、その後現在の立体駐車場、別館、第三別館等を解体、平成二十八年度中の実施設計完了後に本庁舎建設工事を発注し、平成三十年度中の新庁舎建設を予定しております。

現在の公民館位置に立体駐車場を計画、現庁舎の敷地は緑地を含め新庁舎へのアプローチ広場になり広場の地下には駐車場や倉庫等予定しております。建設規模は平成三十二年末計画人口五万人、本庁舎職員四百九十人、議員二十四名で計画しており、延べ床面積は二万二千平方メートルを想定し、現全庁舎の二倍であります。建設予算は五十五億円を見込んでおります。

その他の質問事項

○ノネコ、ノイヌ、ノヤギ
野良猫対策について
○移入種 外来種対策について

碎石現場の土石流入問題について

崎田 信正（日本共産党）



問 小宿土地区画整理事業の見通しは。

答 現在、事業区域で九パーセントの賛同を得るために取り組んでいる。今年度、合意形成が出来れば、早急に区域決定し、平成二十八年度に事業計画の決定、二十九年に仮換地指定、三十年度に工事着工を目指している。

問 佐大熊併存住宅跡地利用はどうなっているか。

答 過去二回入札を実施したが、応募がなかった。今後売却方法や入札条件の変更を含め関係各課と協議を図っていききたい。

問 住用町市の市道への採石現場の土石流入問題について

答 災害防止対策は大島支庁に権限があり、本市として採石法に基づく要請書を四月二十二日に大島支庁長に提出した。県との連携をこれまで以上に密にしたい。

問 末広・港土地区画整理事業は、活性化の目的を達成出来るか。

答 商店街での新たな事業展開を模索する動きもあり、円滑な事業の実施完成により目的は達成されると考えている。

平成26年度実績と拡充について

師玉 敏代（新電美）



問 農林水産物輸送コスト支援事業コスト支援事業の平成二十六年度実績と拡充について

答 約三千万円の当初予算に対し、七団体十七品目で千二百十万にとどまった。事業拡充については、生産者への事業周知を図り、三戸以上という対象条件の緩和や加工品、宅配便の扱い、沖縄向け出荷なども事業対象

として追加するよう国・県に要望し、条件不利性解消に努めたい。

問 公立幼稚園の一時預かり事業について伺う。

答 新制度の下、幼稚園における預かり保育が新たな事業類型（幼稚園型）として一時預かり事業に含まれることになる法的に問題はない。子ども子育て支援新制度で始まった認定こども園などのサービスマーケットを進める上で、合わせて検討する。

その他の質問事項

○農地貸借が進みやすい仕組みづくりについて
○名瀬・住用地区学校給食センターについて
○住用町市集落周辺の土石流出について
○遠的弓道場の整備について

住用町市の砕石場について

渡 京一郎（新政治家）



問 住用町市の砕石場について、住民はきれいな海に戻してほしいと言っているが、市の対応は。

答 去る六月十二日から海岸の土砂撤去作業を行っている、県と連携を図りながら指導に努める。

問 国道、城地区の改善と郵便局前通学路について

答 国道計画については県とも協議を踏まえ解決策を検討してまいりたい。通学路は地域住民の安全のため、県体的な対策について、県に強く要

望してまいりたい。

問 住用総合グラウンド整備とトイレの水洗化について

答 地盤のかさ上げ等総合的な改修が必要と考えられるので年次的整備を進める。トイレの水洗化は緊急性を考慮し優先して行っていく。

問 道の駅マンガローブパーク前に屋根付きバス停留所の建設はできないか。

答 停留所の位置をマンガローブ内の駐車場に整備できないか含めて、バス事業者とも協議を行い、バス利用者の利便性向上に取り組んでまいりたい。

奄美群島市町村議会議員大会

第五十八回奄美群島市町村議会議員大会が五月二十一日、和泊町民体育館で開催されました。

十二市町村の議会議員や市町村長が出席し、奄美群島振興交付金を活用した、産業振興・人材育成施策・雇用の場の拡充を図るとともに、地方創生に向けた取り組みを推進していかなければならないと宣言。

各地区から提出された七議案の採択と奄美群島振興交付金の充実・拡充など十七項目の決議を可決しました。

【採択された七議案】

①奄美群島貨物輸送コスト支援事業の実施について（和泊町・知名町・与論町）

②平土野港多機能港湾新設整備について（徳之島町・天城町・伊仙町）

③主要地方道名瀬瀬戸内線大金久々戸円間トンネルの早期実現について（大和村・宇検村・瀬戸内町）

④超高速ブロードバンド（光ファイバー）の整備促進について（奄美市）

⑤国道五十八号線へ龍郷町役場から浜千鳥館前の拡幅改良について（龍郷町・喜界町）

⑥さとうきび増産基金事業の恒久化について（議長会）

⑦藻場再生事業の奄美群島振興交付金による実施について（議長会）



あなたのまちの議会を間近で見ませんか！！

平成27年第3回定例会は9月7日開会です

一般質問は、9月8日（火）・9日（水）・10日（木）・11日（金）の4日間を予定しています。

（質問者は未定）

常任委員会の 所管事務調査

- ②山形県天童市
空き家バンクについて
- ③東京都足立区
公契約条例について

市議会には三つの常任委員会があり、それぞれの委員会に分けて市政について専門的に担当して審議しています。

各委員会では、全国の先進事例を参考にするため、一年に一回、現地に赴いて調査を行っています。なお、委員の派遣については、調査の内容等を議会本会議において諮り、許可しております。

五月に調査を行いましたので、紙面で報告いたします。

総務企画委員会

○参加者

関誠之、崎田信正、竹田光一、
叶幸與、師玉敏代、西公郎

○調査日程

五月十日～十四日

○調査場所と調査事項

- ①新潟県見附市
地域再生計画について



天童市での調査状況



見附市での調査状況

文教厚生委員会

○参加者

多田義一、渡雅之、栄ヤスエ、
大迫勝史、里秀和、平川久嘉、
戸内恭次

○調査日程

五月二十五日～二十八日

○調査場所と調査事項

- ①東京都杉並区
障害児保育園ヘレン
- ②千葉県立中央博物館
保育園の役割と現状等について
- ③千葉県成田市教育委員会
博物館の役割と現状等について
- ④中学生の交流事業について



障害児保育園ヘレン

産業建設委員会

○参加者

奥輝人、竹山耕平、安田壮平、
川口幸義、橋口和仁、与勝広、
渡京一郎、元野景一

○調査日程

五月二十六日～二十九日

○調査場所と調査事項

- ①石川県金沢市
クルーズ客船の誘致について
- ②群馬県富岡市
地域資源を活かした持続可能なまちづくりへの取り組みについて
- ③群馬県高崎市
まちなか商店リニューアル助成事業



千葉県立中央博物館前にて



高崎市での調査状況



金沢市での調査状況

中心商店街活性化事業の取り組みについて

調査内容については、各委員会審査及び一般質問において、市政への反映を目指してまいります。

平成 27 年 3 常任委員会 所管事務調査

奄美市議会3常任委員会は、平成27年6月2日に市内の所管事務調査を行いました。笠利地区の「ひと・もの交流プラザ」「防災行政無線デジタル化改修事業」名瀬地区の「名瀬クリーンセンター」「名瀬・住用給食センター建設候補地」住用地区の「マングローブパーク」「サン奄美」「木工工芸センター」「和瀬水産物加工センター」などを訪問し施設の指定管理者から利用者の状況、販売実績、経営状況、課題、要望等を聴収しました。また、ごみの分別の状況、最終処分場の状況、施設の計画等の説明を受け、予算の執行状況、今後の施策等について各常任委員会で協議をしてまいります。



名瀬・住用給食センター建設候補地



ひと・もの交流プラザ



サン奄美

人 事 案 件

○教育委員会委員の任命について

第2回定例会で任命され、同意されました。

恵上 イサ子 氏（新任）

○奄美市固定資産評価審査委員会委員の選任について

第2回定例会で選任され、同意されました。

師玉 敏司 氏（再任）

塩崎 博成 氏（新任）

悦田 隆二郎 氏（新任）

第二回 定例会 常任委員会の審査概要

第二回定例会における常任委員会では、六月二十九日に文教厚生・産業建設、三十日に総務企画のそれぞれの委員会で議案・陳情等について審査しました。

常任委員会での審査について紹介します。

総務企画委員会

総務企画委員会では、議案四件（議案第三十六号中関係事項、三十八号、三十九号、四十三号）及び陳情六件（陳情第六号、七号、八号、九号、十号、平成二十四年陳情第五号）を審査し、議案四件を原案のとおり可決すべきものと決し、陳情六件のうち四件（六号、八号、九号、平成二十四年陳情第五号）を継続審査一件（七号）を採択すべきもの、一件（十二号）を不採択とすべきものと決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、地域防災計画改訂に関わる業務委託料二千万円を計上したとの説明

がありました。委員から、防災計画

の内容についての質疑があり、地域防災計画の地震・津波編、一般災害対策編を修正すること、奄美市の防災計画の中にある避難所・避難場所・避難経路の検証を行い、その検証を踏まえて修正すること、それと避難の際の初動体制のマニュアルの作成を行う予定であるとの答弁がありました。委員から、策定後どのようなように具現化し、周知をしていく予定かとの質疑に対し、分かりやすい概要版を作成し、奄美市での防災訓練や地域における防災訓練、集落等への出前講座等を通じ、周知を図っていくたいとの答弁がありました。平成二十七年十月五日から「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」が施行されることから、申請・交付事務補助に伴う一般事務補助員の賃金百四十万六千円を計上したとの説明がありました。委員から登録の際の費用や、住基カードとの関係について質疑があり、登録費用は掛からないが再発行の場合には手数料が掛かること、住基カードの交付を受けている方は、交付される個人番号と

引き換えになるとの答弁がありました。

文教厚生委員会

文教厚生委員会では、議案五件（第三十六号、三十七号、四十号、四十号、四十一号）、請願一件（第二号）及び陳情一件（第十号）を審査し、議案五件を原案のとおり可決すべきものと決し、請願一件（第二号）を採択すべきもの、陳情一件（第十号）は、継続審査と決しました。

一般会計補正予算の主なものとして、少子化対策事業の縁結び事業委託料として二百五十七万三千円、はぐくみ・育ち見守り隊活動謝金として十五万円、墓地調査員賃金として百七十一万七千円、名瀬・住用地区給食センターの登記事務委託料百万円、同センターの土地購入費として一億四百万円を計上した等の説明がありました。はぐくみ・育ち見守り隊の活動内容について質疑があり、八回の養成講座を受けて、育児不安のある妊婦などの支援活動を行い、五十名の人数を予定しているとの答弁がありました。名瀬・住用地区給食センターの整備について質疑があり、登記事務委託料と用地購入費については、総務費から教育費への組み替えと説明がありました。経緯については、平成十一年の旧名瀬市の

検討委員会で三箇所程度との結論があったが、その後の市町村合併や交通環境改善、少子化などにより平成二十六年の検討委員会で総合的に判断して、一箇所と決定したとのこと。今後、保護者や関係者の意見を伺いながらこの事業を進めていくとの答弁でした。

介護保険事業特別会計補正予算の主なものとして、介護保険施行令の一部改正に伴い第一段階の負担割合が、基準額の五十パーセントから四十五パーセントに軽減されることになったため二千四百六十四万九千円の保険料を減額したと説明がありました。

産業建設委員会

産業建設委員会では、議案二件、請願一件及び陳情三件を審査し、議案四件をすべて原案のとおり可決すべきものと決し、請願一件（第三号）を採択すべきもの、陳情三件（第三号、第四号、第五号）を不採択とすべきものと決しました。主な審査の内容は次のとおりです。

一般会計補正予算の主なものとして、糖業振興費のさとうきび生産振興対策協議会負担金百七十一万七千円、さとうきび生産回復対策事業緊急負担金二百六十九万千円は、サトウキビの生産回復のための病害虫

防除対策等を行うもの。林業振興費の工事請負費千万円の増額は、住用の林道一路線、名瀬一路線の事業費の内示に伴うもの。観光施設管理費の賃金七十五万千円は、あやまる岬観光公園グランドゴルフの時間延長によるものと説明。林道工事に対し、生物多様性への配慮、自然環境に負荷をかけない公共工事の推進についての質疑に対し、関係機関、大島支庁も含めて生物多様性に配慮した工法を協議しているとの答弁。土木総務費の私設橋梁整備事業補助金百万円は、地域住民が自ら設置する橋梁整備に対する補助金と説明。質疑に対し、補助対象は、一定の要件があり幅員が二メートル以上、利用する戸数が五戸以上で税金の滞納がないことなど。工事費のうち材料費の四十パーセント百万円が限度と答弁。住宅管理費の六百万円の内容についての質疑に対し、市営住宅の外階段の設置工事で春日住宅の八棟二十六か所、唐浜住宅の六か所を予定との答弁。市道路線の廃止及び認定は、矢之脇二路線をマリントウン地区整備事業に伴い廃止するもの。東ヶ丘一線は、区間を延長するため一旦廃止し、終点を変更して新たに市道認定するものとの説明がありました。

第 2 回 定 例 会 の 主 な 議 案

件 名	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (専決第7号 奄美市税条例等の一部を改正する条例の制定について)	承認
専決処分の承認を求めることについて (専決第8号 奄美市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
専決処分の承認を求めることについて (専決第9号 奄美市子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例の制定について)	承認
専決処分の承認を求めることについて (専決第10号 平成27年度奄美市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について)	承認
平成27年度奄美市一般会計補正予算(第1号)について	原案可決
平成27年度奄美市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決
独立行政法人通則法の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について	原案可決
奄美市特定個人情報保護条例の制定について	原案可決
奄美市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
奄美市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
奄美市道路線の廃止及び認定について	原案可決
奄美市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
奄美市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
奄美市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
教育委員会委員の任命について	同意
少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2016年度政府予算に係る意見書の提出について	原案可決
TPP交渉に関する意見書の提出について	原案可決
地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について	原案可決
奄美市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決

請 願 ・ 陳 情 の 処 理 状 況

受理番号	件名	提出者	結果
請願第1号	少人数学級の推進などの定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を図るための、2016年度政府予算に係る請願書採択の要請について	鹿児島県教職員組合奄美地区協議会 議長 星村 博文	採択
請願第2号	TPP(環太平洋連携協定)交渉に関する請願	あまみ農業協同組合 代表理事組 合長 上岡 重満 県農民政治連盟 奄美支部 支部長 柳 東洋男	採択
陳情第4号	世界自然遺産登録を目指す、奄美群島の山々から辺野古の海・埋め立て土砂の持ち出しを禁止する議会決議を求める陳情	自然と文化を守る奄美会議 共同代表 大津 幸夫・藺 博明	不採択
陳情第5号	自然環境と住民生活を守る「鹿児島県採石条例の改正」を県議会に要望することの陳情	自然と文化を守る奄美会議 共同代表 大津 幸夫・藺 博明	不採択
陳情第6号	「集団的自衛権の行使を具体化する法案について廃案にすることを求める意見書」を政府に提出することを求める陳情	奄美民主商工会 事務局長 岡田 美幸	継続審査
陳情第7号	公契約条例の制定に関する陳情	奄美市職員労働組合 執行委員長 喜納 祐司	採択
陳情第8号	集団的自衛権行使を具体化する「安全保障関連法案」の廃案を求める陳情	川上 真理 奄美地区労働組合総連合 議長 宮田 和孝	継続審査
陳情第9号	女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める陳情	新日本婦人の会 奄美支部 支部長 荒田 まゆみ	継続審査
陳情第10号	子ども医療費無料化に関する陳情	新日本婦人の会 奄美支部 支部長 荒田 まゆみ	継続審査
陳情第11号	陸上自衛隊ミサイル部隊配備受け入れの撤回を求める陳情	集団的自衛権行使と戦争のための 自衛隊配備に反対する奄美ネット ワーク 代表 城村 典文	不採択

※前議会からの継続審査事件

件 名	議決結果
公契約における公正な賃金確保等に関する陳情	継続審査
「商店版リフォーム助成制度の創設」を求める陳情	不採択

第 5 2 回 奄美まつりパレードに奄美市議会も参加しました



表彰状・感謝状の 伝達式を行いました

去る6月17日、東京で開催された第91回全国市議会議長会定期総会で、師玉敏代議員及び多田義一議員が10年の永年在職（勤続）議員表彰を受けられました。

なお、同日の総会で、竹田光一議長が、全国市議会議長会の地方行政委員会委員を一年間務められましたので、感謝状が贈呈されました。

第2回定例会の最終本会議終了後に、全国市議会議長会から送られた表彰状・感謝状の伝達式を行いました。

※大迫勝史議員は党の方針により、在職10年以上の永年勤続表彰を辞退しました。



師玉敏代議員



多田義一議員



竹田光一議員

議 会 の 動 き

- 平成27年 5月 8日 議会だより編集委員会
- 10日 総務企画委員会所管事務調査(10日～14日)
 - 14日 鹿児島県市議会議長会定期総会(議長 於:いちき串木野市)
 - 18日 議会運営委員会
 - 21日 全郡議員大会(全議員 於:和泊町)
 - 25日 文教厚生委員会所管事務調査(25日～28日)
 - 26日 産業建設委員会所管事務調査(26日～29日)
- 6月 2日 3常任委員会所管事務調査(笠利・名瀬・住用6箇所)
- 4日 九州市議会議長会総会(議長 於:長崎市)
 - 9日 各種協議会総会(9日～11日 議長 於:奄美会館)
 - 15日 議会運営委員会
 - 16日 鹿児島県市議会議長会臨時総会, 国会議員との意見交換(議長 於:東京)
 - 17日 全国市議会議長会第91回定期総会(議長 於:東京)
 - 11日 奄美市議会第2回定例会招集告示・議案配布
 - 19日 奄美市議会第2回定例会開会, 全員協議会
 - 22日 一般質問 — 与議員, 奥議員, 大迫議員, 渡(雅)議員
 - 23日 一般質問 — 元野議員, 関議員, 安田議員, 里議員
 - 24日 一般質問 — 崎田議員, 師玉議員, 川口議員, 渡(京)議員
 - 26日 本会議, 全員協議会, 議会運営委員会
 - 29日 文教厚生委員会審査, 産業建設委員会審査
 - 30日 総務企画委員会審査
- 7月 8日 最終本会議, 永年在職(勤続)議員表彰状及び感謝状の伝達式
- 9日 全国ハンセン病療養所所在市町村連絡協議会総会
 - 14日 鹿児島県公立学校施設整備期成会評議員会(議長 於:鹿児島市)
 - 21日 平成27年第1回鹿児島県市町村総合事務組合議会臨時会(議長 於:鹿児島市)
 - 28日 議会運営委員会・全員協議会
 - 30日 鹿児島県市議会議長会定期総会(議長 於:枕崎市)
 - 31日 関西名瀬連合会・沖縄名瀬会歓迎の夕べ



市議会だより編集委員会									
委員長 元野 景一									
副委員長 竹山 耕平									
委員 西 公 郎									
多田 義一									
関 誠之									
平川 久嘉									
渡 京 一									
崎田 信 正									

編集あとがき

大相撲は年6場所である。地方議会は年4回の定例会である。どちらが楽であるという議論をするつもりはない。始まればすぐ終わるという印象は、どちらも同じである。しかし、その本番を迎えるまでの準備(資料収集と現場取材)が大変である。一般質問のネタ探し、委員会の質問項目・総括質疑の裏付け資料収集や聞き取りなど、その準備は人それぞれだが日ごろからの準備・稽古が大切である。なぜなら、その結果がすぐに質問の中(土俵)で現れるからである。「備えあれば憂いなし」で、準備が十分な時は余裕を持って質問ができるが、だからと言って満足出来き、納得のいく質問だったと思えることは一度としてないと感じている。毎回反省することはかなりである。そうこうしながらも、一期・四年間が終わろうとしている。次期をめざして準備を進めなければ・・・「備えあれば憂いなし」市民の声を市政に反映させるために、おおいに汗をかきたい。

(関 誠之)

奄美市議会ホームページアドレス <http://www.city.amami.lg.jp/amami02/amami24.asp>